

オルビス、子育て世代の女性を親子で観賞できるコンサートに招待 ～7月22日～25日、全国3都市で「オルビス・ザ・キッズコンサート」を開催～

ポーラ・オルビスグループのオルビス株式会社(本社:東京都品川区、社長:町田恒雄)は、女性支援および芸術文化・地域支援活動の一環として、「オルビス・ザ・キッズコンサート」を開催しました。

毎日、忙しく子育てに取り組み、なかなか本格的なクラシックコンサートを観賞する機会のない女性に、お子様と一緒に本物の音楽を楽しんでいただくことを目的とし、7月22日(日)東京、24日(火)名古屋、25日(水)大阪と3都市で計1,100名を招待、大変ご好評をいただきました。



オルビスは2005年から、商品でのサポート以外にもお客さまの毎日の生活のさらなる充実に役立ちたいとの思いから、内面の豊かさや美しさにつながるような美しい音色を提供するため「オルビス・ザ・コンサート」と題した音楽コンサートを開催しています。今回の「オルビス・ザ・キッズコンサート」は「子育てを頑張るお母様を応援したい」というオルビスの想いと、「小さいうちから、本物の音楽を子供に経験させてあげたい」というお母様の気持ちにお応えするために開催しました。そのため内容もお子様向けのバラエティショー的なコンサートではなく、誰もが聞いたことのあるクラシックの名曲の数々を、本物のクラシックホールでおとどけすることにこだわりました。メイン奏者には、ヴァイオリン奏者の奥村愛さんをお迎えし、モーツァルトなど90分間のプログラムをお届けしました。

各地で3歳から小学校6年生までのお子様を連れの親子計1,100名を招待し、「育児をしているとこの様なクラシック音楽を生で聴く機会がぐっと減り諦めていましたが、今日は心身ともにリラックスして好きな音色に包まれて幸せです」「心に美の栄養をいただきました」「こどもの心にもとても響いたようで、コンサートの後の表情がキラキラして遠方から来て本当によかったです」などの嬉しいお声をいただきました。また、来場者の皆さまにご協力いただいたアンケート結果では約7割の方が「期待以上だった」とご回答いただきました。

(アンケート回収率は約65%)

6月27日に新たなブランドステートメント“オイルフリー派ダ”宣言を発表したオルビスは、今後もこのような文化支援活動を行い、既成概念に捉われない新しい価値と感動を提供し続けます。

参考資料

【開催データ】～全国3都市3公演

公演日・開演時間	開催地区	会場
7月22日(日)14:00	東京	サントリーホール ブルーローズ
7月24日(火)14:00	名古屋	電気文化会館コンサートホール
7月25日(水)14:00	大阪	エルセラーンホール

【出演者】



奥村 愛(ヴァイオリン)

7歳までアムステルダムに在住。桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースで学ぶ。第68回日本音楽コンクール第2位他受賞多数。各地でのリサイタルをはじめ、国内外のオーケストラとも多数共演。親子向けコンサートなども積極的に展開し、多彩な活躍で注目されている。最新CD「ラヴェンダーの咲く庭で」を2010年11月に発売。<http://aiokumura.jp/>



前田尚徳(ヴァイオリン)

桐朋学園大学カレッジディプロマコースで学ぶ。ソリストとして東京ユニバーサルフィルと共演。サイトウ・キネン小沢征爾塾でコンサートマスターを務める等、多方面で活躍中。



山田那央(ヴィオラ)

東京芸術大学卒業後、ケルン音楽大学にてディプロムの称号を取得。コンセル・マロニエ21コンクール、大阪国際コンクール他で入賞。05年シュレースヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭に奨学金を得て参加、五嶋みどり氏と共演。



奥村 景(チェロ)

桐朋学園大学卒業。新潟室内合奏団とハイドンの協奏曲を共演。これまでにチェロを渋谷陽子、毛利伯郎に師事。



小柳美奈子(ピアノ)

東京芸術大学卒業。共演する奏者の呼吸の機微を読み取り、しなやかに寄り添うアンサンブル・ピアニスト。レコーディング参加作品も多数。トリオ「YaS-375」のメンバー。

【プログラム】(90分・休憩10分含む)

- ◆ モーツァルト:アイネ・クライネ・ナハトムジークより
- ◆ ドヴォルザーク:弦楽四重奏曲第12番「アメリカ」第4楽章
- ◆ エルガー:愛のあいさつ
- ◆ パッヘルベル:カノン
- ◆ 久石譲:ねこバス～さんぽ(「となりのトトロ」より) 他

“「オイルフリー派ダ」宣言”について

「オイルフリー派ダ」宣言

2012年6月27日、オルビスは自らの存在感をさらに高めるべくブランドの提供価値を見つめなおし、新たなブランドステートメントとして「オイルフリー派ダ」宣言を行いました。

“フリー”には、常識や制約を解き放ち、お肌と体に良いものを突き詰め、提案し続けていくのだという情熱と、新たな“美しさ”を実現していこうとする決意・覚悟を込めています。

オルビスは今後も既存概念に捉われない新しい価値と感動を常に提供し続けます。そして、一人ひとりのお客さまとの結びつきを強め、深く、永くお付き合いいただけるブランドへと進化を続けていきます。